

敬老の日と敬老パス

19日の敬老の日。例によって朝早く目が覚めた。ふとんのなかで、ふと「敬老」について思いついたことがある。

忘れないうちに、朝早くフェイスブックに投稿した。最近では珍しく、われながら、なかなかの「でき」と考えたが、そのわりに「反応」はあまり多くはなかった。でも、せっかくなのでレポートにも書いておきたい。

今日は「敬老の日」。この日にちなんだ二題。

☆招かれないのに敬老の集いに行った。

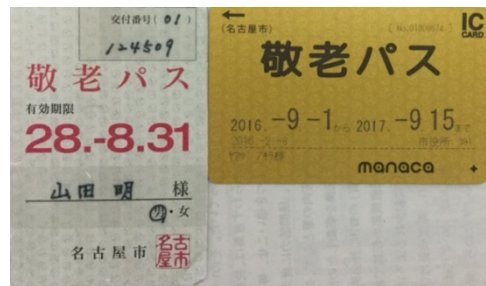
「軽老」なので、まだ早いと言われた。
「けいろーかな」!?

☆写真のように今月から「敬老パス」が
ICカード、「マナカ」に。「まなか」と?
待っていたので嬉しかった。

金色の「マナカ」に「きんさん」を思い
出す。「ぎんさん」も。

今日も「敬老パス」を使って出かけた。

もう、わが家に「けいろーかな」!?



「敬老パス」にはお世話になっている。とりわけ退職後は、通勤定期なるものがなくなり、「敬老パス」がないと家に閉じこもりがちになってしまう。名大に行くときも、本山までは地下鉄を利用。そこから「四谷通」の坂道を歩くことにしている。どんなに雨が降っていても。若いときには、星ヶ丘から名大まで歩いたこともあったが、いまは無理しないようにしている。

「敬老パス」があると、いろんなコースを選択できて、まち歩きも楽しくなる。歩くことを主体にして、途中の前後を地下鉄や市バスを使う。これまで行かなかったところまで、足を延ばすことができる。伊勢湾台風の被災地だったところにも、「敬老パス」も利用して何回も訪ねた。

この9月からは、「敬老パス」がICカード、「マナカ」に変わった。金色カードにも慣れてきた。通勤定期の感じが戻ってきたようだ。ICカードに変わって便利になったのは、改札口を通る「機会」が増えたことだ。これまでは「敬老パス」が利用できる改札機は少なかった。いまは「タッチ・アンド・ゴー」で通り抜けている。

(2016年9月28日)